

大学の世界展開力強化事業（平成23年度採択）中間評価結果

大 学 名	○名古屋大学、東北大学
タ イ プ	A-I
構 想 名	持続的社会に貢献する化学・材料分野のアジア先端協働教育拠点の形成

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px 0;">A</div>	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント)	
<p>本プログラムは、名古屋大学が有する分子触媒化学、高分子化学、ナノサイエンス・ナノテクノロジーにおける強みと、東北大学が有する計算化学、錯体化学、天然物化学における強みを活かしつつ、将来、化学・材料分野において、アジア中核拠点からグローバルに活躍する研究者・スペシャリストを育成することを目的としており、事業目的の達成に向けておおむね順調に実施されている。</p> <p>アカデミックカレンダーの違いや学生の就職に配慮している点、受入に当たり教材整備、チューター配置やカウンセリングを実施している点、教員の相互交流が行われている点、評価に当たり外部の目を取り入れている点は評価できる。</p> <p>一方で、事業目的を達成するためには、特に、日中韓の複数の大学が連携することの意義を明確にし、日本人学生の派遣数を拡大させるための不断の努力が必要である。</p>	